

平成 20 年度 予 算 の 特 徴

I. 予算の性格

国の新年度予算は、「基本方針 2007」に基づき将来を見据えた改革を推進するため、歳出改革を更に進めるものとし、地方に対しても徹底した歳出抑制や重点化など財政の健全化を求めている。

本市の新年度予算であるが、歳入について市税は、法人市民税が減少するなど、引き続き厳しい状況の中、国県支出金の獲得や財政調整基金、市債の活用など財源確保に努めた。

歳出については、厳しい要求基準による部局枠配分方式の予算編成と行政評価を活用した事業の見直し、経営改革プランに基づく定員管理や地域手当の見直しを始めとする総人件費の抑制に努める一方、総合計画の着実な推進をはじめ、市民生活に直結する新たな事業に対しても積極的に対応した。

重点施策としては、将来を担う子どもたちへの施策、安全・安心のまちづくり、環境への取り組み、地域経済の活性化、市民協働・共生のまちづくりなどの事業や、行政サービスの質の向上に結びつく事業を優先的に取り組む「未来に安心・いきいき協働型予算」として編成した。

II. 予算規模

会 計	予 算 額	伸 率
一般会計	1, 131 億 7 千 万円	2. 6 % (1.3%)
特別会計	718 億 5 千 4 百万円	△ 20. 3 % (7.0%)
企業会計	476 億 7 千 7 百万円	0. 5 % (1.9%)
合 計	2, 327 億 1 百万円	△ 6. 1 % (3.4%)

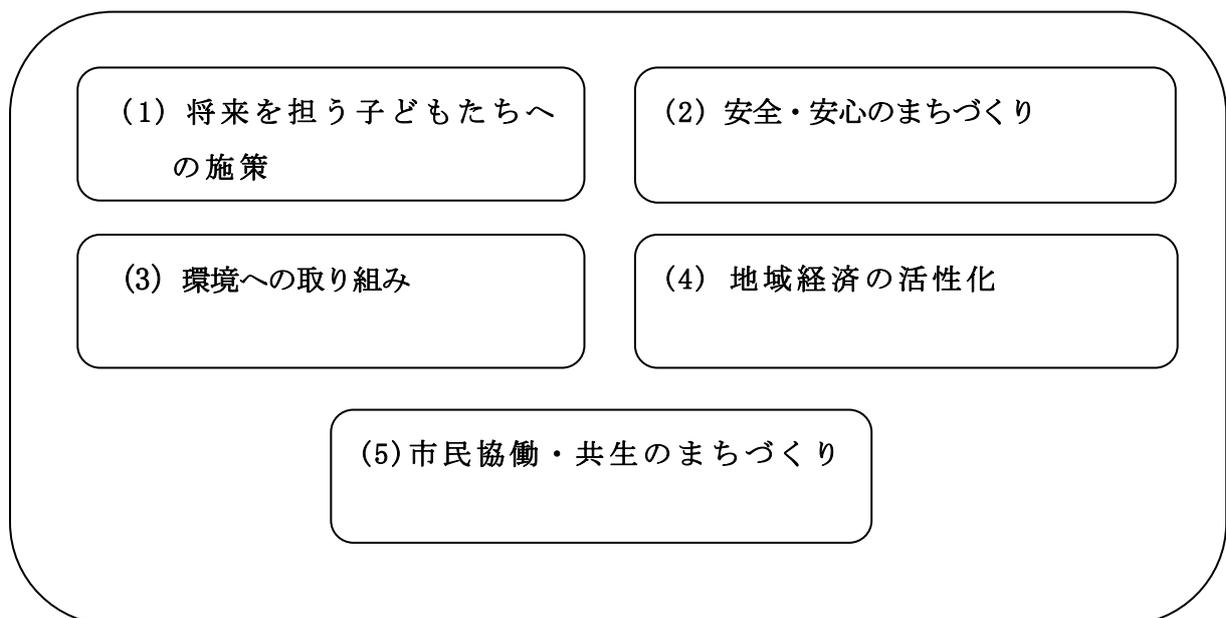
☆表中、() は前年度伸率を示す。

Ⅲ. 主な特徴

1. 平成20年度予算編成の対応

- 健全な財政運営の確保と行政サービスの質の向上に向けた施策の実施
- 一般会計の予算規模：1,131億7千万円
当初予算対比、前年度の2.6%増と過去最高額
- 市税：658億円
当初予算対比、前年度の1.2%の増と過去最高額
 - ・個人市民税：229億9千万円（2.2%増）
 - ・法人市民税：61億5千万円（3.8%減）
 - ・固定資産税：273億3千万円（2.0%増）
- 財政調整基金や市債を活用した財源確保
 - ・財政調整基金繰入金：49億1千万円（39.1%増）
 - ・市債：96億1千万円（17.6%増）
- あらゆる分野における歳出の見直し
 - ・厳しいシーリングの設定と業務上の課題を検討・整理した上での事業の見直し、再構築
- 政策・施策評価を活用した事業の選択と重点化
 - ・必要な分野に財源を集中

2. 重点施策の推進



(1) 将来を担う子どもたちへの施策

- ◎こども未来館「ここにこ」のオープン（平成20年7月26日（土））
（子どもを中心として様々な世代の人々がふれあう場と機会を提供する市民交流施設）
- ◎子ども医療費助成の拡大
（通院：就学前→小3まで、入院：就学前→中3まで）
- ◎妊婦健診助成回数の拡大（2回→5回）
- ◎生後4か月までの家庭訪問（こんにちは赤ちゃん事業）
（子育て支援、育児に関する悩みの相談等）
- ◎保育料の保護者負担軽減の拡大
 - ◎保育料表の改定（軽減率39.5%→40.0%）
 - ◎第3子以降保育料無料化の実施（所得税非課税世帯で18歳未満児童の第3子以降の園児が対象）
- 病児・病後児保育事業の充実
 - ◎病児保育の実施（すこやか診療所）
- 私立幼稚園運営への助成
 - ◎第3子以降保育料等無料化の実施（市民税所得割34,500円以下の世帯で、18歳未満児童の第3子以降の園児が対象）
 - ◎同時在園第3子以降無料化（所得制限なし）の実施
- ◎児童養護施設整備事業への助成
（豊橋平安寮の改築に要する費用の一部を助成）
- ◎未来を担う子ども勤労観育成事業の実施
（小学3年生を対象に、こども未来館での仕事体験等を通じ働くことに対する見方や考え方を育成）
- 新入学児童学級対応等支援事業の充実
 - 教員免許を有する新入学児童学級対応等支援員を配置（45人→49人）
- 英会話のできる豊橋っ子の育成
 - ◎中学校の英会話副読本の作成（豊橋の自然・文化を題材に作成）
- 放課後児童対策事業の充実
 - 公立児童クラブの増設（28校区→29校区）
 - 民間児童クラブに対する助成（補助単価見直しによる助成額の増）

- ◎放課後子ども教室の開設（つつじが丘、嵩山、岩田）
- 公立児童クラブの整備
 - ◎クラブ室の建設
 - 幸第一、幸第二児童クラブ（軽量鉄骨造 2 階建 182 m²）
 - 玉川児童クラブ（軽量鉄骨造平家建 79 m²）

（2）安全・安心のまちづくり

- 防災対策事業の推進
 - ◎防災リーダーの養成
 - 防災無線（市内一斉通報用）の整備（後期 H20～H22 29 局）
 - ◎非木造住宅耐震診断への助成
 - ◎全国瞬時警報システム（Jアラート）導入
 - ◎地域集会所（木造）耐震改修への助成
 - ◎保育所の園舎耐震補強工事等への助成（7 園で工事を実施）
- 地域防犯活動の推進
 - ◎女性向け防犯教育講座の実施
- 保健所・保健センター及び地域療育センター（仮称）の整備
 - ◎用地の購入（35,861.32 m²）
 - ◎PFI 手法による施設の建設工事に着手（H20～H21）
- ◎広域地域医療研究会の設置
（東三河の地域医療に関し広域で検討すべき課題の調査・研究）
- 障害者自立支援法の円滑な実施
 - ◎利用者負担軽減の拡充
（低所得世帯を中心とした利用者負担の軽減、軽減対象となる課税世帯の範囲拡大、所得段階区分の見直し）
 - ◎重症心身障害者（児）短期入所利用支援事業補助金の創設
（医療機関以外の短期入所事業所が重症心身障害者（児）を受け入れるための経費を助成）
 - ◎地域移行促進事業の実施
（精神障害者相談支援事業所の新設及び退院可能な精神障害者等の地域移行を促進）

- 設楽ダムの建設促進と水源林地帯整備の推進
- 自動体外式除細動器（AED）の計画的配置

（3）環境への取り組み

- 次世代型とよはし農業創造計画の推進
 - ◎豊橋市バイオマスタウン構想推進事業
（ホームページを立ち上げ本市のバイオマス資源の情報を広く一般に発信、事業化の推進を図る）
- 路面電車活性化の推進
 - LRTシステム整備費補助金（◎LRV車両1両導入）
- ◎エコ・コースト事業（二川漁港 H20～H24）
- ◎地球温暖化対策地域推進計画の策定（策定期間 H20～H21）
- 太陽光発電システム設置整備事業補助金
（◎保育所・幼稚園の太陽光発電システム等設置費用を助成）
- ◎吹付けアスベスト対策事業費補助金
（民間建築物を対象に、露出して吹付けされている部分の分析調査・除去にかかる費用の一部を助成）
- リサイクルステーションの充実（2か所→3か所）
- ◎ごみステーションでのペットボトル収集
- ごみ焼却施設（3号炉）の計画的な改修（H18～H24）
- 最終処分場整備事業の推進
 - ◎新規最終処分場及び新規浸出汚水処理施設の整備（H20～H22）
- 産業廃棄物対策の推進
 - ◎適正処理監視指導嘱託員の配置（施設への定期的な立入・検査の実施）

（4）地域経済の活性化

- 都心活性化の推進
 - 優良建築物等整備事業補助金
（◎広小路三丁目B-2地区 H20～H22）
 - ◎中心市街地活性化基本計画の策定

- 東口駅南地区都市拠点開発事業の推進
 - 東口駅南土地区画整理事業
 - ペDESTリアンデッキ整備事業（H19～H20 継続費）
 - 新豊橋駅改善事業への助成（プラットホームの2線化）
- 大山塚跨線人道橋改築事業（H18～H20）
- 港湾関連対策事業の推進
 - ◎コンテナターミナル利用促進事業補助金（荷役作業機械導入への助成）
- 中小企業活性化の推進
 - ISO規格認証取得に要する経費の一部を助成
 - （◎従業者数50人以下の企業の助成率を拡大 1/2→2/3）
 - 知的財産権の取得に要する経費の一部を助成
 - （◎助成対象の見直し：審査請求に対する助成→出願への助成）
- ◎新事業創出等支援事業費補助金
 - （「都市エリア産学官連携促進事業」の成果を踏まえ新事業の創出を図る研究事業に対して助成）

（5）市民協働・共生のまちづくり

- 市民協働の推進
 - ◎市民協働事業提案募集制度による事業の実施
 - ◎市民協働推進員の設置
 - （市民協働事業の推進に向け全庁的な体制を強化）
 - ◎住みよい暮らしづくり計画作成モデル事業（3校区で実施）
 - ◎地域づくり活動交付金の創設
 - （地区文化振興活動補助金等、従来の3つの補助金を統合）
- 平和・交流・共生のための取組み
 - ◎戦争に関する「収蔵資料展」の開催
 - ◎国際協力市民サロンでの青年海外協力隊の活動状況をパネル展でPR
- ◎日伯交流100周年記念
 - ◎日伯交流100周年記念事業の実施
 - ◎日伯交流展の開催
 - ◎日伯交流年事業として自然史博物館特別企画展の開催

(平成 20 年 9 月 19 日 (金) ~ 11 月 16 日 (日) 「シーラカンスー
ブラジルの化石と大陸移動の証人たち」)

- ◎多文化共生推進プラン (仮称) の策定
- ◎インターネットラジオ局からポルトガル語による市政情報等の提供を開始
- ◎外国籍児童対応放課後子ども教室の開設

3. 第 4 次総合計画の主要施策の推進

(重点施策として記載したものを除く)

魅力と活力あふれるまち

- ◎総合文化学習センター (仮称) の整備
 - ◎芸術文化交流施設の民間資金等活用事業調査委託の実施 (H20~H21)
- 総合動植物公園の整備
 - ◎サルデッキ完成 (オープニングセレモニー 平成 20 年 4 月 19 日 (土))
- ◎勤労者福祉サービスセンター事業補助金
(豊橋版・勤労者福祉サービスセンターへの支援)
- ◎県外学卒者就職促進事業
(豊橋商工会議所、愛知県などと連携し、九州地方等の実業高校を訪問)
- ◎ファーマーズマーケットの整備推進
(豊橋田原地域における「地産地消」の拠点としての大型農産物直売所の建設に助成)
- 安全安心な農産物づくりの充実
 - ◎農薬散布者に注意を促す「黄色い旗運動」事業に対する助成
 - ◎難防除害虫発生予察事業に対する助成
- 優良農地の確保と保全の充実
 - 遊休農地解消事業補助金 (◎補助額 3 万円/10 a → 上限 5 万円/10 a に拡大)
- ◎地域技能者活用事業の実施
(優れた熟練技能者を地元工業高校へ派遣し、ものづくり産業を担う人材を育成)
- 企業誘致活動の推進

健康で安心して暮らせるまち

- 福祉医療費助成の充実
 - ◎精神障害者医療費助成の拡大
 - ◎後期高齢者福祉医療費給付制度の新設
- ◎後期高齢者医療特別対策事業の実施
 - ◎脳ドック等診査費補助の実施（脳、肺、心臓ドックの健診料を助成）
- 保健事業の実施
 - 健診事業等の実施（◎特定健康診査の開始）
- 母子保健事業の充実
 - ◎妊産婦歯科健診の充実
（妊婦期から産後1年以内に個別医療機関で1回受診）
 - ◎一般不妊治療に対する助成
（助成金額：5万円（限度額） 助成期間：2年）
- 予防接種事業の充実
 - ◎麻しん・風しん混合予防接種対象者の拡大（対象：中1、高3）
- 感染症予防の充実
 - ◎緊急肝炎ウイルス検査の実施（医療機関で無料検査を実施）
- ◎後期高齢者医療制度の実施（特別会計の設置）
 - ◎被保険者（75歳以上及び一定の障害があると認定された65歳以上の高齢者）
- 市民病院医療体制の充実
 - ◎7対1看護体制の整備 ◎医師の処遇改善
 - ◎病院総合情報システム開発
- 西部地域福祉センター（仮称）及び窓口センターの整備
 - ◎建設工事の実施（全体延床面積1,350㎡）
（西部地域福祉センター（仮称）の建設に合わせ、西部・北部窓口センターを移転統合し、センター内に開設）
・オープン：平成21年4月（予定）

個性的でいきいきと暮らせるまち

- ◎学校評価の実施

- ◎校務用コンピュータの整備
 - (小中学校の全教職員に校務用兼教材提示用コンピュータを配置)
- 吉田方小学校校舎増築事業（校舎増築実施設計、運動場整備工事）
- ◎多米小学校校舎増築事業
- ◎牛川小学校プール改築等事業（プール解体工事、運動場整備、用地購入等）
- 中学校校舎改築事業（豊城中学校、中部中学校）
- 社会教育施設の整備
 - ◎牟呂地区市民館リニューアル工事
 - ◎豊城地区市民館リニューアル実施設計
 - ◎津田校区市民館建替工事（H20～H21 継続費）
- 北部学校給食共同調理場の改築
 - 民間資金等活用事業調査委託（H19～H20）
 - ◎整備・運営事業の契約締結及び基本設計の着手
- 体育施設の整備
 - ◎市民球場グラウンド改修工事
 - 市民プール整備工事（H19～H20 継続費）
 - （オープン：平成 20 年 6 月 29 日（日））
- 自然史博物館展示等の充実
 - ◎中生代展示室リニューアルオープン（平成 20 年 4 月 26 日（土））
 - ◎開館 20 周年記念シンポジウムの開催（平成 20 年 7 月 13 日（日））
- ◎図書館蔵書貸出サービスの向上
 - ◎インターネット予約システムの導入
 - ◎コンピュータネットワークの拡大（市民館 3 館→市民館 6 館、こども未来館）
- 南地域図書館整備事業の推進
 - ◎PFI 導入可能性調査の実施
- 美術博物館の企画展
 - ◎生誕 290 年木喰展－庶民の信仰・微笑仏－
 - ◎こどものとも「絵本原画展」
 - ◎第 4 回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展
 - ◎上村松園・松篁・淳之展
- 二川宿本陣資料館の企画展

◎山下清の東海道五十三次展

緑豊かで快適に暮らせるまち

- 公園整備の推進
 - 総合スポーツ公園整備事業(◎用地購入、◎飲料水兼用耐震性貯水槽設置)
- 公営住宅建設事業の推進
 - 植田住宅建替事業(第2期)(H19~H20 1棟39戸)
 - 新植田住宅建替事業(移転補償、実施設計等)
 - ◎南栄住宅建替事業(用地測量)
- まちづくり景観整備の推進
 - ◎まちづくり景観形成基本計画の改訂
- 地域公共交通利用の推進
 - ◎「地域生活」バス・タクシー実証運行
 - ◎「地域生活」バス・タクシー実証運営経費補助金
- 土地区画整理事業の推進(牛川西部、柳生川南部、牟呂坂津)
- 地域下水道事業
 - 建設事業の推進(大山地区、◎嵩山地区)
- 水道事業
 - 配水管整備事業 ○地震防災対策
- 下水道事業
 - 第7次拡張事業の推進
 - 地震防災対策 ○合流式下水道改善

安全で住みよいまち

- 海岸保全事業の推進
 - 高豊漁港海岸離岸堤設置(H15~H24)
 - 漁村コミュニティ基盤整備事業
(二川漁港 ◎小松原町地内 H20~H21)
- 消防力の強化及び施設整備
 - ◎携帯電話・IP電話位置情報通知装置の導入

- ◎はしご付消防自動車の更新
- ◎西分署の施設整備（実施設計、地質調査）
- 消費者行政の推進
 - ◎多重債務者相談窓口の設置

4. 改革改善に向けた行財政運営の推進

- 第4次総合計画後期計画の推進（計画期間 H18～H22）
- 経営改革プランの推進（計画期間 H17～H22）
- 指定管理者制度の導入（◎1施設－こども未来館）
- 人件費の見直し
 - 職員数（職員△26 再任用 10 嘱託 22 計 6）
 - 地域手当改定
（特別職（教育長含む）：5%→3%、一般職：7%→6%）
- ◎市税コールセンターの設置
（未納者への早期対応のため、電話催告を専門に行う部門を設置）
- ◎コンビニエンスストアでの納付を開始
（平成20年4月より：市・県民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、保育料等）
- 証明等窓口サービスの充実
 - ◎窓口の土曜日開設（試行）
（平成20年7月より：戸籍謄抄本、住民票の写し等の交付業務を開始予定（午前9時～午後0時30分））
 - ◎フローアアシスタントの配置
- 公共施設予約システムの整備
（平成20年10月利用開始予定：◎文化施設等の予約受付・情報提供など）

平成20年度予算における財政状況

参考資料

一般会計

○予算規模は2.6%と3年連続の増加（19年度1.3%、18年度4.7%、17年度△7.5%）
3月補正前倒し分を加算した実質では1.3%（19年度1.5%）

市税

○⑲650億円 → ⑳658億円 <+8億円>
・個人市民税 ⑲225億円 → ⑳230億円 <+5億円>
税源移譲の平年度化による増
・法人市民税 ⑲64億円 → ⑳62億円 <△2億円>
企業業績の状況から法人税割の減
・固定資産税 ⑲268億円 → ⑳273億円 <+5億円>
家屋の新增築分等による増

地方交付税等

○地方交付税 ⑲0.3億円 → ⑳0.15億円 <△0.15億円>
(うち普通交付税 ⑲0 → ⑳0 <->)
○臨時財政対策債 ⑲26.8億円 → ⑳25.2億円 <△1.6億円>
(普通交付税+臨時財政対策債 ⑲26.8億円 → ⑳25.2億円 <△1.6億円>)
○地方特例交付金 ⑲4.0億円 → ⑳6.8億円 <+2.8億円>
個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の減収補てん措置による増

一般財源比率等

○一般財源比率 ①9 73.7% → ②0 73.1% <△0.6ポイント>
 ○自主財源比率 ①9 70.8% → ②0 70.8% < 0ポイント>

市債依存度

○①9 7.4% → ②0 8.5% <+1.1ポイント>
 (②0保健所保健センター用地分を除き <△0.3ポイント>)
 ○3月補正前倒し分を加算した場合
 ①9 8.0% → ②0 8.5% <+0.5ポイント>
 (②0保健所保健センター用地分を除き <△0.9ポイント>)

地方債現在高見込

○一般会計 ①9末 1,144億円 → ②0末 1,140億円 <△4億円>
 (うち建設地方債 ①9末 794億円 → ②0末 786億円 <△8億円>)
 (うち特別地方債 ①9末 350億円 → ②0末 354億円 <+4億円>)

※特別地方債=減税補てん債、臨時財政対策債、臨時税収補てん債

○全会計 ①9末 2,044億円 → ②0末 2,017億円 <△27億円>

各年度当初予算規模

単位：億円

	12	13	14	15	16	17	18	19	20
歳入総額 A	1,083	1,091	1,053	1,068	1,125	1,041	1,089	1,103	1,132
歳出総額	1,083	1,091	1,053	1,068	1,125	1,041	1,089	1,103	1,132
市税	580	601	582	567	569	580	602	650	658
一般財源 B	827	835	824	813	820	794	795	813	827
一般財源比率 B/A	76.4	76.5	78.3	76.1	72.9	76.3	73.0	73.7	73.1